

テーマ
大学のグッズを考えて、企画書を書こう！
目標
学習レベル 4 ○ 大学のグッズについて調べて、ほかとの違いについて気づくことができる。 ○ 企画書はどんなものかを知り、根拠のある企画書を書くことができる。 ○ 企画書に基づいて、発表することができる。
コミュニケーション能力指標
【話題分野】なし 職業？
学習シナリオ
<p><場面状況></p> <p>K 大学国際学部では第 1 外国語として日本語の授業を週に 4 回行っている。各クラス3～8名在籍しており、このクラスは、アジア、アフリカから来日した6名で構成されている。このクラスは聴解・会話の上級クラスとして行っている。今回は大学のグッズを考えて、企画書を書くことにした。</p> <p><活動の流れ></p> <p>第 1 回は、学生は K 大学の生協へ行き、どんなグッズが売っているか調べた。それを踏まえて、自分ならどんなグッズが欲しいかを考えた。次週までに大学のグッズとほしいグッズについて、スライドを作ることを宿題。</p> <p>第 2 回は、K 大学のグッズと自分がほしいグッズについて発表した。</p> <p>第 3・4回は、ものを紹介するとき、分かりやすい表現について学んだ。それから、身近にあるものについてそれぞれ発表を行った。その間、他大学のグッズについて調べることが宿題</p> <p>第 5・6回は、企業の企画書を読み、企画書にはどんな事項を書くべきかを話し合った。</p> <p>第 7回は、他大学のグッズについて発表を行った。</p> <p>第 8回は、自分が企画したグッズについて、根拠を示すために、アンケートやインタビューを行うことにしたが、どのようなアンケートやインタビューを行うかディスカッションを行った。</p> <p>第 9・10 回は、グラフについて発表するときの表現について学んだ。その後、グラフを1つ選んで、発表する練習を行った。アンケートやインタビューを実施することが宿題。</p> <p>第 11 回は、自分が考えた企画書についてクラスメートと話し合った。</p> <p>第 12 回は、自分が考えたグッズについて、自分が行ったアンケート結果も含めて発表を行った。</p> <p>第 13 回は、教師は学生にフィードバックを行った。</p>
総括的評価
<ul style="list-style-type: none"> • 企画書 • 企画書についての発表